

岐阜県の自殺統計

（令和5年人口統計）

岐阜県精神保健福祉センター
令和6年12月版作成

岐阜県における自殺の現状

1 特徴

統計データから見る本県の特徴は次のとおりです。

- 岐阜県の自殺者数は、令和 2 (2020) 年までは、年々減少傾向にありましたが、令和 3 (2021) 年から増加に転じ、令和 5 (2023) 年は 355 人、令和 4 (2022) 年は 308 人と増加傾向にあります。(図 1)
- 自殺者数の男女別では、男性の割合が女性より多く、令和 5 (2023) 年は全体の約 7 割を占めています。(図 2)
- 本県の令和 5 (2023) 年の自殺死亡率は 19.0、令和 4 (2022) 年の 16.3 より増加しています。(図 3)
- 令和 5 (2023) 年の性別自殺死亡率は、男性 26.9、女性 11.6 であり、男女とも令和 4 (2022) 年より増加しています。(図 4) <表 1>
- 令和 5 (2023) 年の年齢階級別の自殺死亡率は、70～79 歳以外のすべての年齢層で令和 4 (2022) 年より増加しています。また、10 歳～19 歳の自殺死亡率の年次推移は、令和 5 (2023) 年の 7.9 が最高値となっています。(図 5)
- 令和 5 (2023) 年の年齢階級別における自殺死亡割合は、15～34 歳の年齢層において、死亡総数の 5 割を占めます。特に 15 歳～24 歳の年齢層では、死亡総数に占める自殺死亡割合は 6 割を超えています。<表 2>
- 自殺の原因・動機別では、男性は「健康問題」が最も多く、次に「経済・生活問題」「勤務問題」が続く、女性は「健康問題」が最も多く、次に「家庭問題」「その他」と続きます。<表 3>

■自殺の状況に関する統計データとして、図 1～図 5、表 1～表 2 は、人口動態統計（厚生労働省）を基に作成しています。図 6～図 11 は、自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル 2024」を基に作成しています。表 3 は、地域における自殺の基礎資料を基に作成しています。

【参考】

厚生労働省「人口動態統計」と警察庁「自殺統計」の違い（厚生労働省令和元年版自殺対策白書より）

1 日本における外国人の取扱いの差異

「自殺統計」は、日本における日本人及び日本における外国人の自殺者数としているのに対し、「人口動態統計」は日本における日本人のみを自殺者数としています。

2 調査時点の差異

「自殺統計」は、捜査等により、自殺であると判明した時点で、自殺統計原票を作成し、計上しているのに対し、「人口動態統計」は自殺、他殺あるいは事故死のいずれか不明の時は原因不明の死亡等で処理しており、後日原因が判明し、死亡診断書等の作成者から自殺の旨訂正報告があった場合には、遡って自殺に計上しています。

3 計上地点の差異

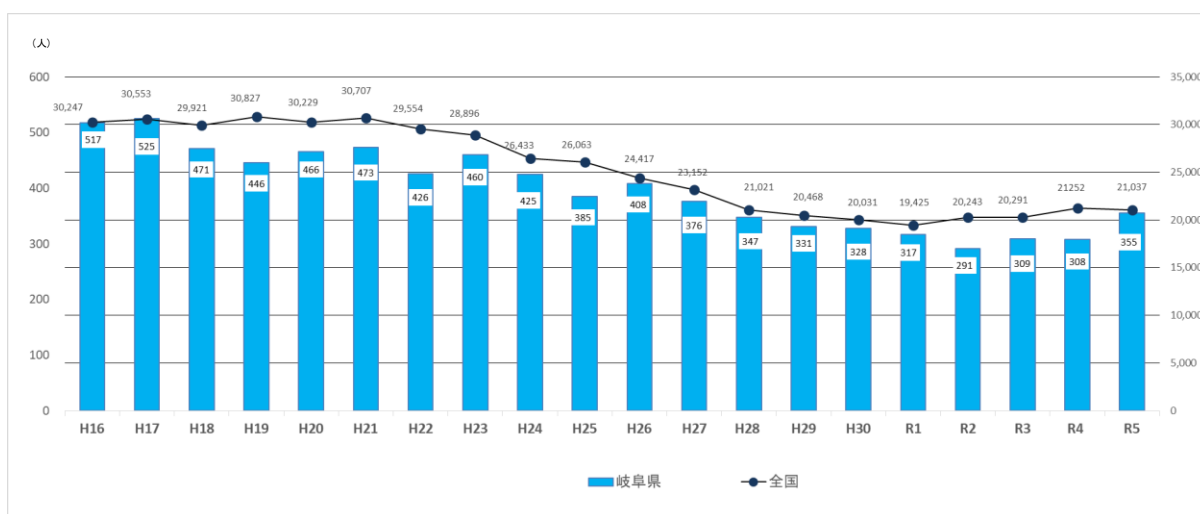
「自殺統計」は、発見地に計上しているのに対して、「人口動態統計」は、住所地に計上しています。

2 統計データからみる岐阜県の自殺の現状

(1) 自殺者数

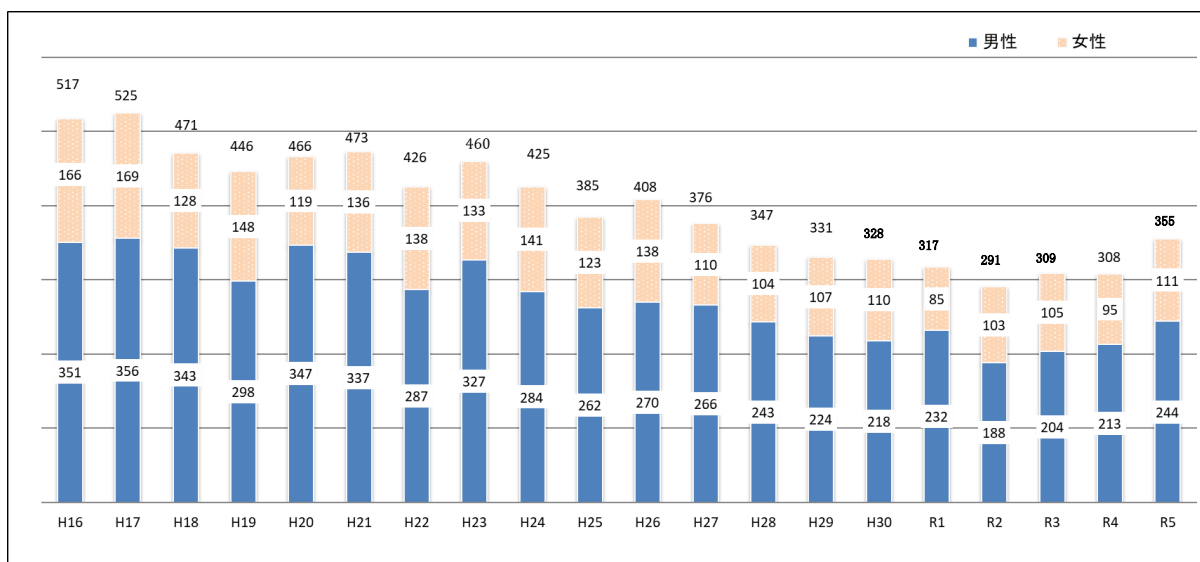
- ・自殺者数は令和2(2020)年までは年々減少傾向にありましたが、令和3(2021)年から増加に転じ、増加傾向にあります。
- ・令和5(2023)年の自殺者数は355人、令和4(2022)年から47人増加しています。(図1)
- ・令和5(2023)年の男女別の自殺者数について、男女ともに令和4(2022)年より増加しています。(図2)

(図1) 全国・岐阜県自殺者数の年次推移



(資料：人口動態統計)

(図2) 岐阜県自殺者数の男女別の年次推移



(資料：人口動態統計)

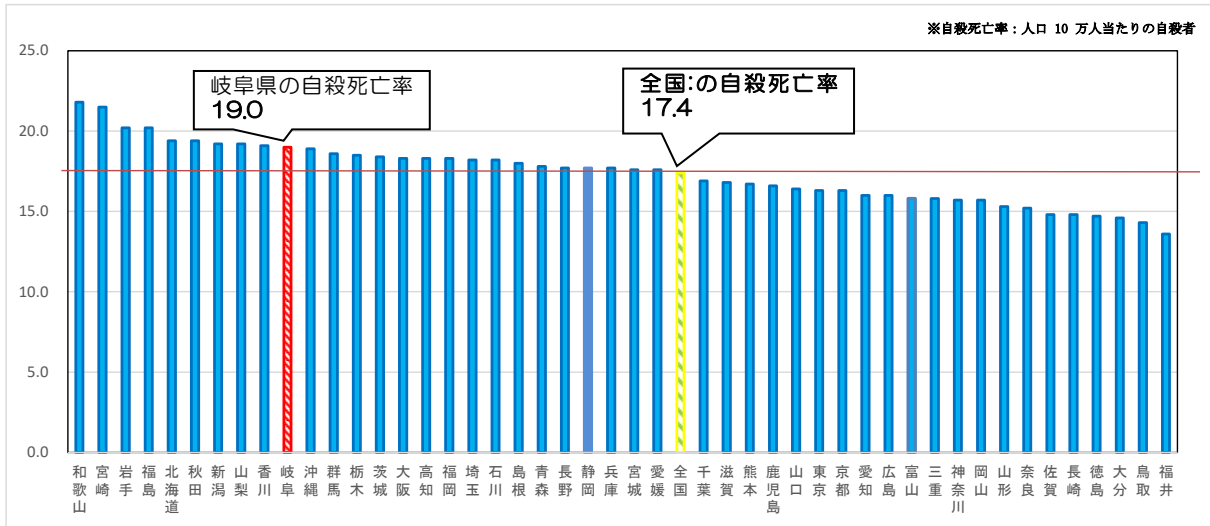
(2) 自殺死亡率

- ・岐阜県の令和5(2023)年の自殺死亡率は19.0、令和4(2022)年の16.3より増加し、全国の自殺死亡率を上回りました。(図3) 令和2(2020)年から令和4(2022)年まで全国を下

回っていましたが、令和5(2023)年は全国を上回りました。

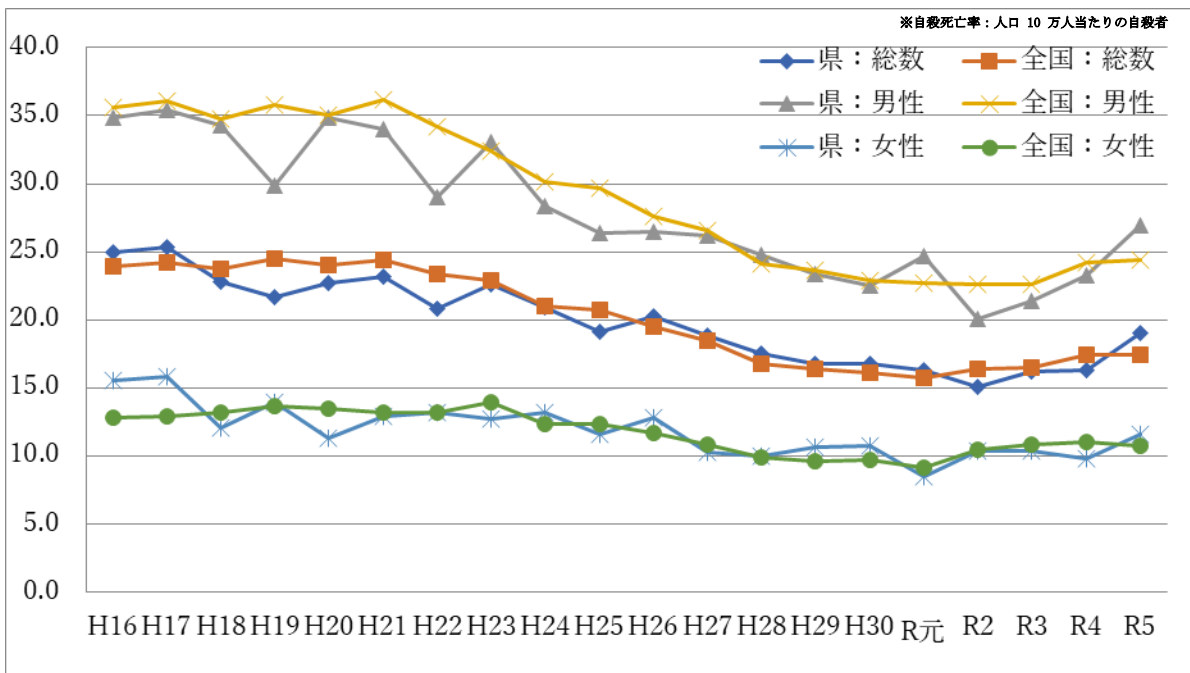
- ・令和5(2023)年の性別自殺死亡率は、男性26.9、女性11.6となり、男女とも令和4(2022)年より増加し、全国値を上回っています。(図4) <表1>
- ・令和5(2023)年の年齢階級別の自殺死亡率は、70～79歳以外のすべての年齢層で令和4(2022)年より増加しています。(図5)
- ・10～19歳の自殺死亡率の年次推移において、令和5(2023)年の7.9は最高値となっています。<表2>

(図3) 令和5年 全国・岐阜県自殺死亡率の比較



(資料：人口動態統計)

(図4) 岐阜県性別自殺死亡率の年次推移



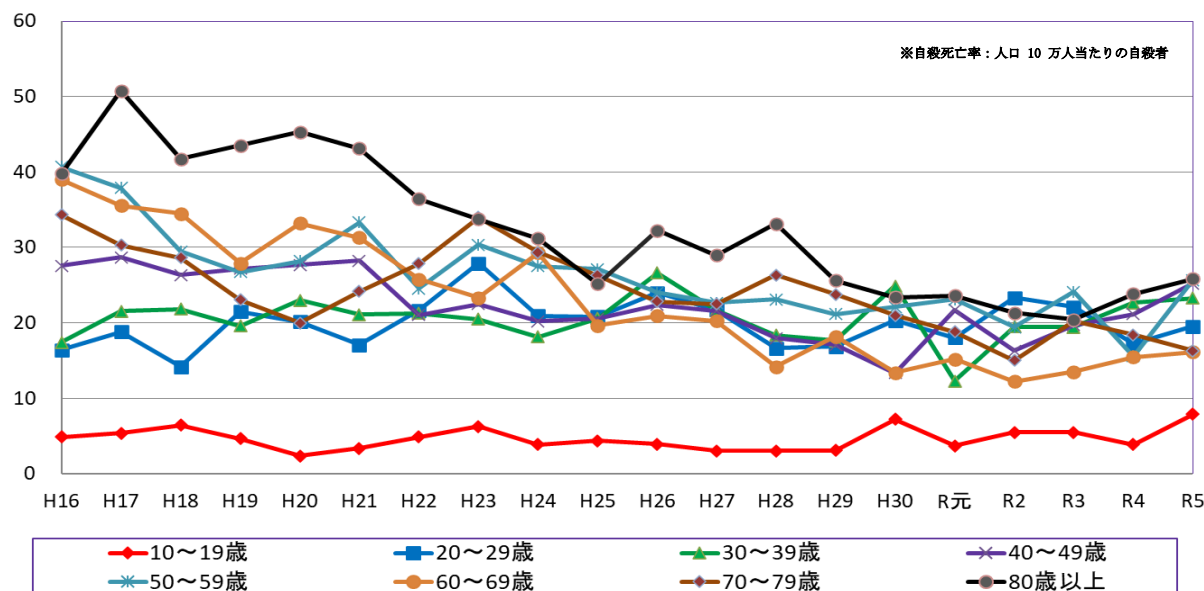
(資料：人口動態統計)

<表 1> 全国・岐阜県 性別自殺死亡率（人口 10 万対）

		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5
総 数	県	24.9	25.4	22.8	21.7	22.7	23.1	20.8	22.6	20.9	19.1	20.3	18.8	17.5	16.8	16.8	16.3	15.1	16.2	16.3	19.0
	全国	24.0	24.2	23.7	24.4	24.0	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5	17.4	17.4
男 性	県	34.9	35.5	34.3	29.9	34.9	34.0	29.0	33.1	28.4	26.4	26.5	26.2	24.8	23.4	22.5	24.7	20.1	21.4	23.3	26.9
	全国	35.6	36.1	34.8	35.8	35.1	36.2	34.2	32.4	30.1	29.7	27.6	26.6	24.1	23.6	22.9	22.7	22.6	22.6	24.2	24.4
女 性	県	15.5	15.8	12.0	13.9	11.3	12.9	13.2	12.7	13.2	11.6	12.8	10.3	10.0	10.6	10.7	8.5	10.4	10.4	9.8	11.6
	全国	12.8	12.9	13.2	13.7	13.5	13.2	13.2	13.9	12.3	12.3	11.7	10.8	9.9	9.6	9.7	9.1	10.5	10.8	11.0	10.7

（自殺者数：人口動態総計、人口：人口推計）

（図 5）岐阜県年齢階級別自殺死亡率の年次推移



（資料：人口動態統計）

（3）年齢階級別の死亡総数に占める自殺死亡割合

- ・岐阜県の令和 5（2023）年の年齢階級別の自殺死亡割合において、50%を超える年齢階級は 15 歳～19 歳、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳でした。特に 15 歳～24 歳の年齢層では、死亡総数に占める自殺死亡割合は 6 割を超えています。<表 3>

<表 2> 令和 5 年 岐阜県の年齢階級別の死亡総数に占める自殺死亡数の割合（人口 10 万対）

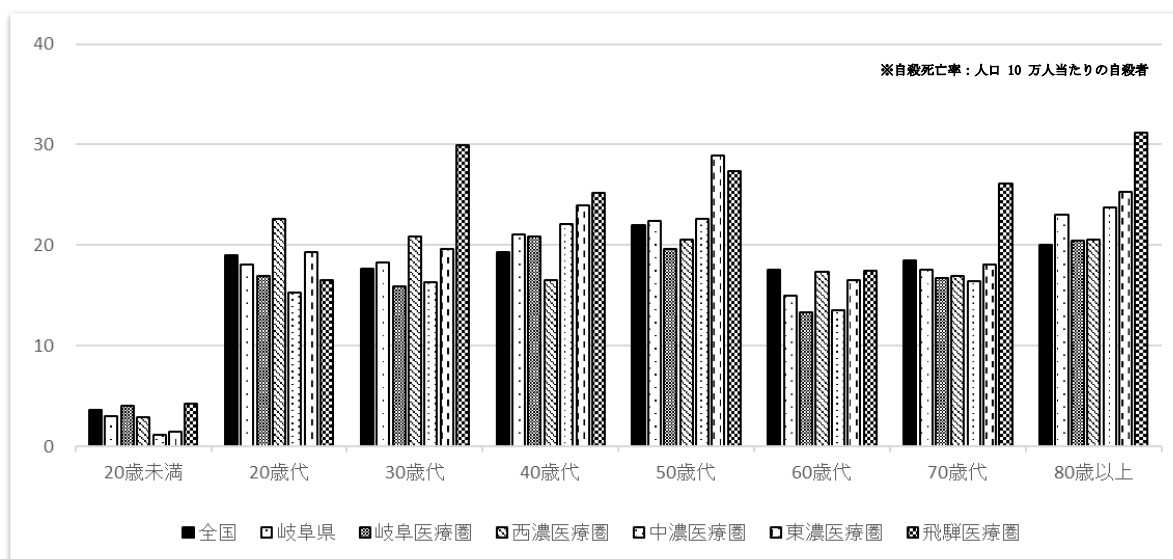
	総数	10～ 14 歳	15～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45～ 49 歳	50～ 54 歳	55～ 59 歳	60～ 64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90 歳 ～
自殺死亡数(人)	355	3	11	17	16	21	21	27	35	38	31	17	21	20	24	26	13	14
割合(%)	1.4	27.3	64.7	65.4	57.1	50.0	32.8	29.3	19.3	11.9	7.7	3.0	2.2	0.9	0.8	0.6	0.2	0.2
死亡総数(人)	26089	11	17	26	28	42	64	92	181	320	405	573	938	2120	2871	4154	5606	8597

（資料：人口動態統計を元に自殺死亡割合を算出）

(4) 年代別・医療圏域別の自殺死亡率

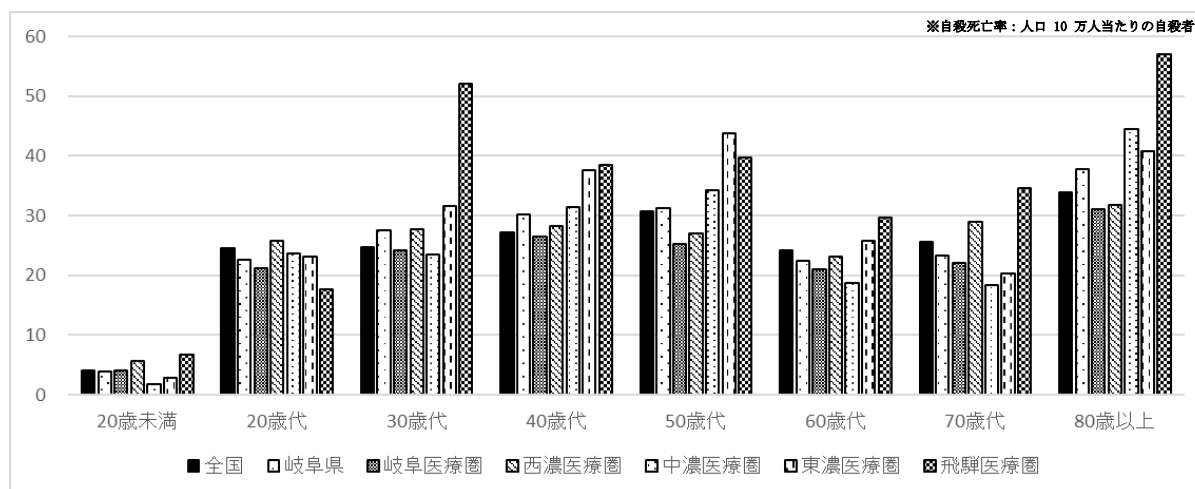
- ・岐阜県の 2019～2023 年平均の年代別自殺死亡率について、全国より数値が高い年代は 30 歳代、40 歳代、50 歳代と 80 歳以上でした。(図 6)
- ・男性の 2019～2023 年平均の年代別自殺死亡率では、全国より岐阜県の数値が高い年代は 30 歳代、40 歳代、50 歳代と 80 歳以上であり、これらのどの年代においても、岐阜県のより数値の高い医療圏は飛騨と東濃でした。また、西濃医療圏は 30 歳代において高く、中濃医療圏は 40 歳代、50 歳代、80 歳代以上で高くなっています。(図 7)
- ・女性の 2019～2023 年平均の年代別自殺死亡率では、全国より岐阜県の数値が高い年代は 20 歳代、40 歳代、50 歳代、70 歳代、80 歳以上でした。岐阜県より数値の高い年代は各医療圏で異なり、岐阜医療圏は 40 歳代と 50 歳代、西濃医療圏は 20 歳代と 50 歳代、中濃医療圏は 40 歳代と 70 歳代、東濃医療圏は 20 歳代、70 歳代、80 歳以上、飛騨医療圏は 20 歳代、50 歳代、70 歳代、80 歳以上でした。(図 8)

(図 6) 年代別・医療圏域別自殺死亡率 (2019 年～2023 年平均)



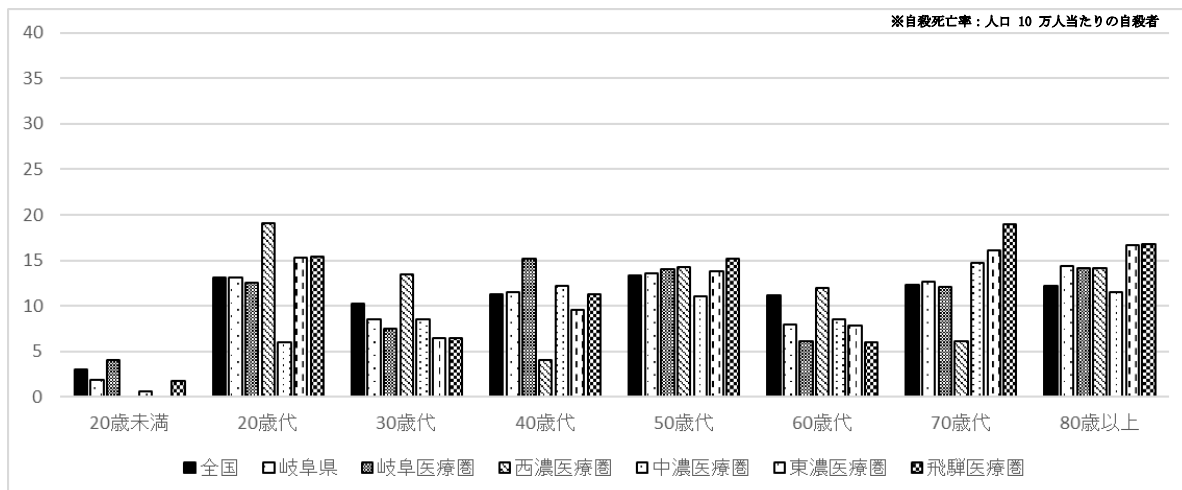
(資料：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル 2024」)

(図 7) 【男性】年代別・医療圏域別自殺死亡率 (2019 年～2023 年平均)



(資料：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル 2024」)

(図 8) 【女性】年代別・医療圏域別自殺死亡率 (2019 年～2023 年平均)

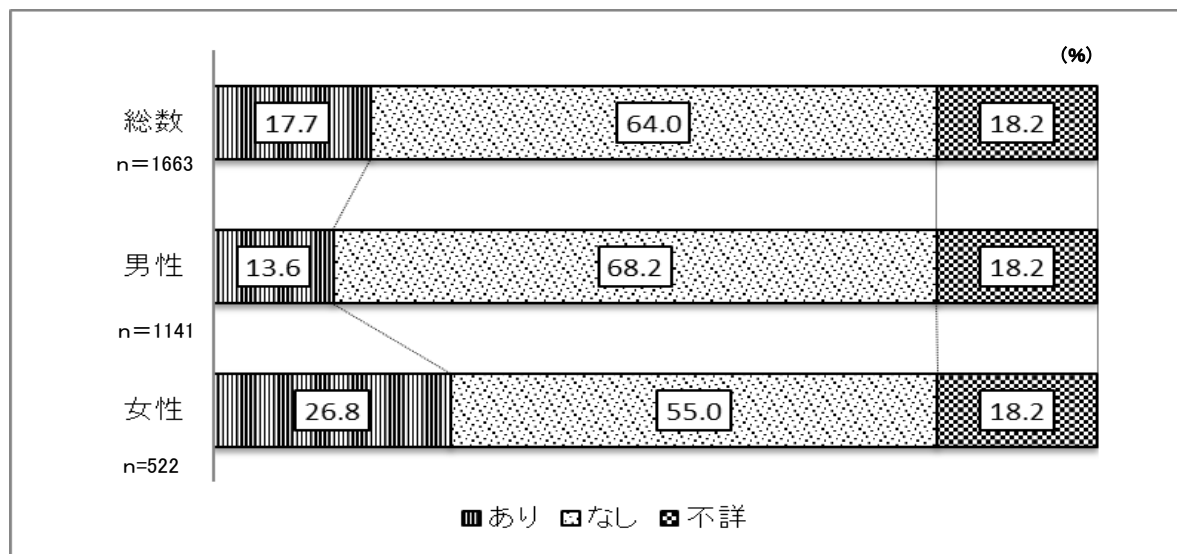


(資料:自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル2024」)

(5) 自殺者における未遂歴の有無

- ・岐阜県の自殺者について、男性の 68.2%、女性の 55%は自殺未遂歴がなく、自殺未遂歴のある自殺者は、男性よりも女性の方が多い傾向にあります。(図 9)

(図 9) 自殺者における未遂歴の有無 (2019 年～2023 年合計)

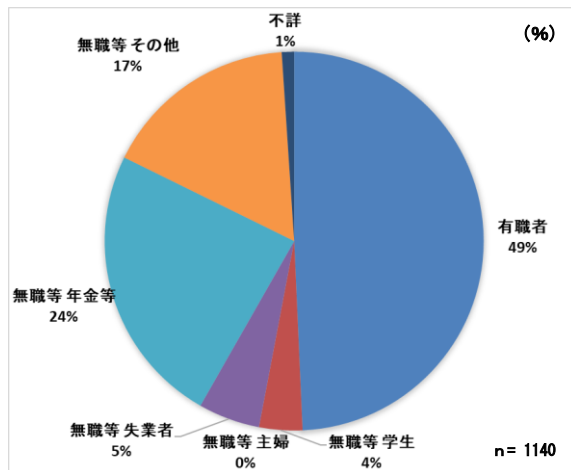


(資料:自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル2024」)

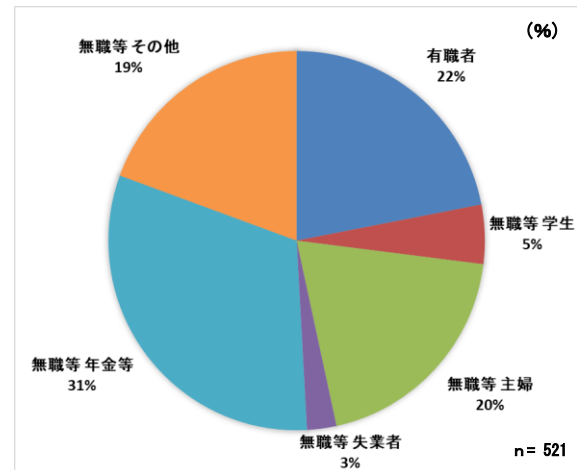
(6) 職業別自殺者数

- ・職業別自殺者数について、男性は有職者が半数を占めています。女性は無職等・年金等が最も多く、全体の約 30%を占めています。(図 10) (図 11)

(図 10) 【男性】職業別の自殺者数



(図 11) 【女性】職業別の自殺者数



(資料:自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル2024」)

(7) 原因・動機別自殺者数

- ・自殺の原因・動機別について、男性は「健康問題」が最も多く、次に「経済・生活問題」「勤務問題」が続き、女性は「健康問題」が最も多く、次に「家庭問題」「その他」と続いています。＜表 3＞

＜表 3＞ 原因・動機別の自殺者数

	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳	計
男性	41	88	68	46	6	4	34	19	306
女性	23	60	12	3	5	2	15	7	127
総数	64	148	80	49	11	6	49	26	433

(自殺の統計：地域における自殺の基礎資料(令和5年))